



## 2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年2月10日

上場会社名 株式会社マルイチ産商 上場取引所 名  
 コード番号 8228 URL http://www.maruichi.com/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 社長執行役員 (氏名) 柏木 康全  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 コーポレート管理本部長 (氏名) 仁科 圭右 TEL 026-285-4101  
 四半期報告書提出予定日 2023年2月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第3四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	190,308	4.1	2,005	13.2	2,471	12.8	1,553	10.5
2022年3月期第3四半期	182,899	4.2	1,770	△16.1	2,190	△17.1	1,406	△16.0

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 1,803百万円 (37.0%) 2022年3月期第3四半期 1,316百万円 (△33.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	70.30	—
2022年3月期第3四半期	63.70	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	75,616	24,845	32.0
2022年3月期	53,680	23,476	42.6

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 24,198百万円 2022年3月期 22,866百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	3.00	—	15.00	18.00
2023年3月期	—	3.00	—		
2023年3月期（予想）				15.00	18.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	242,000	1.6	1,550	△12.8	2,000	△13.8	1,100	59.8	49.81

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期3Q	23,121,000株	2022年3月期	23,121,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	1,017,454株	2022年3月期	1,025,198株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期3Q	22,100,981株	2022年3月期3Q	22,079,695株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動) .....	8
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けつつも、社会経済活動の正常化に向けた動きが見られました。しかしながら、ウクライナ情勢の長期化に起因したエネルギーや原材料価格の高騰、急激な円安の進行による物価上昇もあり、依然として先行き不透明な状況が続いております。食品流通業界におきましては、物価高の影響や水道光熱費の高騰により家計の負担が増大し、消費者の生活防衛意識がさらに強まるなど、厳しい経営環境が継続しております。

こうした環境の中、当社グループは経営理念に掲げる「人命の根源たる食品の流通を通して社会に奉仕する」に基づき、食のライフラインを守ることを社会的使命に地域のインフラとしての機能を高めながら事業の持続的成長を図っております。

経営方針としましては、2023年3月期を最終年度とする中期経営計画「創造2022」の達成に向け、重点施策の5本柱として「物流」「長野モデル」「事業拡大戦略」「人材育成」「事業構造改革」を掲げ、グループ収益力の最大化に向けて諸施策を実行しております。また、サステナビリティ経営については、事業活動を通じたSDGsの取組みと、事業価値と継続価値の向上に向けた中長期的な取組みテーマの設定を進めております。

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、年末商戦における食品需要が堅調に推移したことに加え、商品の仕入価格上昇に伴う販売単価の上昇もあり、売上高は1,903億8百万円（前年同期比4.1%増）となりました。利益面につきましては、売上高の伸長による売上総利益の増加と、物流費や光熱費の上昇に対し、経費の適正化に努めたことから、営業利益20億5百万円（前年同期比13.2%増）、経常利益24億71百万円（同12.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益15億53百万円（同10.5%増）となりました。

#### [セグメント別の概況]

※ 各セグメントの売上高については、セグメント間の内部売上高を除いて記載しております。

#### <水産事業セグメント>

水産部門では国産天然魚の不漁や小型化、急激な円安等による水産物全般が相場高となる中、当社グループ内の連携強化による養殖魚の安定供給と、産地とのネットワークを基盤とした国産天然魚の調達やフルアソート調達機能などの商品調達力を活かし、顧客からの天然・養殖・生鮮・冷凍での供給ニーズに応えながら売上拡大を図りました。デイリー部門では差別化を狙った自社開発商品の拡売や、顧客ニーズに対応した商品の開発・販売により売上を拡大しております。フードサービス部門では、昨年10月に子会社(株)ナガレイが3年ぶりに展示会を開催するなど、外食・観光需要の回復に合わせた業務用関連商品の売上拡大を図りました。以上のことから、売上高につきましては1,109億41百万円（前年同期比3.9%増）となりました。

利益面につきましては、コストの上昇により販管費が増加したものの、売上高の拡大による売上総利益の増加等により、営業利益は12億4百万円（同38.0%増）となりました。

#### <一般食品事業セグメント>

原材料価格の高騰に伴う相次ぐ商品の値上げと生活防衛意識の高まりにより店頭売上が鈍化する中、顧客への販促提案や協働による商品開発への組織的対応と自社開発商品の販路拡大を進めております。年末年始における観光需要の回復と帰省客の増加もあり、売上高につきましては221億93百万円（前年同期比3.8%増）となりました。

利益面につきましては、子会社信田缶詰(株)について当社グループ内で連携しながら原料調達の強化と販路拡大を推進しておりますが、缶詰市況の低迷と水揚げ不足による相場高騰の影響により、営業損失は1億70百万円（前年同期は1億33百万円の営業損失）となりました。

#### <畜産事業セグメント>

相場概況は、国産畜肉は生産コストの上昇等による相場高が継続しており、輸入畜肉は円安の影響で仕入価格が高止まりしております。このような状況下、当社グループでは商品調達力と流通加工機能を活かし、長野県内及び関東・東海・中京エリアへの拡販を進めております。以上のことから、売上高につきましては316億98百万円（前年同期比6.3%増）となりました。

利益面につきましては、国産牛・国産鶏の相場上昇への対応不足等により、営業利益は3億62百万円（同1.2%減）となりました。

#### <丸水長野県水グループセグメント>

各事業分野において当社グループ内で連携を図ることで長野県内の主要顧客との取組みを強化し、販売拡大を進めております。年末年始における長野県内への帰省客や旅行客の回復もあり、売上高につきましては247億43百万

円(前年同期比2.5%増)となりました。

利益面につきましては、畜産事業における相場差損の影響と、年金資産運用における退職給付費用の一時的な増加もあり、営業利益は5億10百万円(同3.0%減)となりました。

<その他(物流・冷蔵倉庫事業、OA機器・通信機器販売及び保険代理店事業)>

子会社マルイチ・ロジスティクス・サービス(株)は、当社グループの物流業務・冷蔵倉庫事業の品質向上とローコスト体制の構築を、グループ内の各事業と連携しながら推進しております。

業績につきましては、電気料金の高騰等によるコストの上昇が収益を圧迫し、売上高は7億32百万円(前年同期比4.7%減)、営業利益は98百万円(同28.9%減)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は756億16百万円となり、前連結会計年度末と比較して219億36百万円の増加となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金が170億55百万円、商品及び製品が30億40百万円増加したことによります。

負債は507億71百万円となり、前連結会計年度末と比較して205億66百万円の増加となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金が199億85百万円増加したことによります。

純資産合計は248億45百万円となり、前連結会計年度末と比較して13億69百万円の増加となりました。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の42.6%から32.0%に減少しました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の通期の連結業績予想につきましては、現時点では2022年5月12日に発表しました業績予想に変更はありません。

※ 業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値とは異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,953	9,666
受取手形及び売掛金	18,647	35,702
商品及び製品	6,162	9,203
仕掛品	20	19
原材料及び貯蔵品	201	209
その他	2,515	3,147
貸倒引当金	△17	△32
流動資産合計	36,484	57,916
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,721	2,683
土地	6,603	6,603
その他(純額)	1,202	1,081
有形固定資産合計	10,527	10,368
無形固定資産		
ソフトウェア仮勘定	1,841	2,286
その他	212	214
無形固定資産合計	2,054	2,500
投資その他の資産		
投資有価証券	2,731	2,913
退職給付に係る資産	197	179
その他	1,832	1,852
貸倒引当金	△147	△115
投資その他の資産合計	4,614	4,830
固定資産合計	17,196	17,699
資産合計	53,680	75,616
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	22,129	42,114
短期借入金	1,200	1,200
1年内返済予定の長期借入金	318	303
未払法人税等	469	337
賞与引当金	509	298
その他	3,268	4,575
流動負債合計	27,894	48,829
固定負債		
長期借入金	362	143
役員株式給付引当金	73	84
債務保証損失引当金	45	45
退職給付に係る負債	769	713
資産除去債務	102	103
その他	956	850
固定負債合計	2,309	1,941
負債合計	30,204	50,771

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,719	3,719
資本剰余金	3,388	3,388
利益剰余金	16,623	17,777
自己株式	△1,104	△1,097
株主資本合計	22,627	23,789
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	475	614
退職給付に係る調整累計額	△236	△205
その他の包括利益累計額合計	239	408
非支配株主持分	609	647
純資産合計	23,476	24,845
負債純資産合計	53,680	75,616

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	182,899	190,308
売上原価	167,177	174,425
売上総利益	15,722	15,883
販売費及び一般管理費	13,951	13,877
営業利益	1,770	2,005
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	110	119
受取賃貸料	153	154
その他	188	208
営業外収益合計	454	483
営業外費用		
支払利息	9	9
固定資産除却損	17	4
その他	7	3
営業外費用合計	34	17
経常利益	2,190	2,471
特別利益		
固定資産売却益	91	—
特別利益合計	91	—
税金等調整前四半期純利益	2,281	2,471
法人税、住民税及び事業税	697	826
法人税等調整額	105	11
法人税等合計	802	837
四半期純利益	1,478	1,633
非支配株主に帰属する四半期純利益	72	79
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,406	1,553



## (四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	1,478	1,633
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△193	138
退職給付に係る調整額	31	30
その他の包括利益合計	△162	169
四半期包括利益	1,316	1,803
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,244	1,723
非支配株主に係る四半期包括利益	72	79

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2021年4月1日 至2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	水産事業	一般食品 事業	畜産事業	丸水長野 県水グル ープ	計				
売上高									
顧客との契約から生 じる収益	106,785	21,390	29,806	24,148	182,131	768	182,899	—	182,899
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	106,785	21,390	29,806	24,148	182,131	768	182,899	—	182,899
セグメント間の内部 売上高又は振替高	827	113	1,164	151	2,256	2,476	4,733	△4,733	—
計	107,612	21,504	30,971	24,299	184,388	3,245	187,633	△4,733	182,899
セグメント利益又は 損失(△)	872	△133	366	526	1,631	138	1,770	—	1,770

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流・冷蔵倉庫事業、  
OA機器・通信機器販売・保険の代理店事業等を含んでおります。

2. セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2022年4月1日 至2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	水産事業	一般食品 事業	畜産事業	丸水長野 県水グル ープ	計				
売上高									
顧客との契約から生 じる収益	110,941	22,193	31,698	24,743	189,576	732	190,308	—	190,308
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	110,941	22,193	31,698	24,743	189,576	732	190,308	—	190,308
セグメント間の内部 売上高又は振替高	706	116	1,281	167	2,272	2,460	4,733	△4,733	—
計	111,647	22,310	32,979	24,911	191,849	3,192	195,042	△4,733	190,308
セグメント利益又は 損失(△)	1,204	△170	362	510	1,906	98	2,005	—	2,005

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流・冷蔵倉庫事業、  
OA機器・通信機器販売・保険の代理店事業等を含んでおります。

2. セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。